



てん菜ができるまで

<北海道の大地>



3月中旬～



苗を育てる

この時期、北海道の畑は雪で真っ白ですが、暖かいビニールハウスの中で苗を元気一杯に育てます。

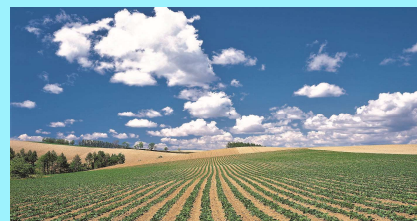
4月下旬～



苗を植える

雪が溶けて暖くなったら、元気に育った苗を畑に植えたり、種を畑に直接まきます。

7月～



大きく育てる

草取りをしたり病害虫を防ぎながら大切に育てます。この時期になると青々とした葉が畑一杯に広がります。

9月～



糖分を蓄える

秋になると、昼と夜の気温差が大きくなります。この気温差によって糖分がてん菜の根にたまっていきます。

10月～



収穫する

葉を切ったあとに、丸々と太った根を機械で収穫します。てん菜1つの重さは約 800 g ～ 1 kg あります。

10月中旬～



工場で製糖

収穫されたてん菜はトラックで工場に運ばれ、砂糖に加工されます。工場は3月まで休みなく毎日製糖しています。